

問い合わせ先
2009年皆既日食海上警備・安全対策本部
広報班長 税所 百年
TEL099-250-9800(内線2110)

平成21年 4月24日
第十管区海上保安本部

トカラ群島における海難救助訓練の実施について

7月22日の皆既日食の際には、多数の観察者が小型船などでトカラ群島を訪れることが予想されることから、第十管区海上保安本部では、万一の事故に備え、来月、地元の実地海難救助ボランティア団体である鹿児島県水難救済会の各救難所と合同で海難救助訓練を行います。

第十管区海上保安本部では、昨年12月1日から「2009皆既日食海上警備・安全対策準備室」を設置、4月1日には対策本部に格上げをし、間近に迫ってきた皆既日食に向け、巡視船・航空機による事前踏査、自治体が開催する協議会へのオブザーバー参加など、安全対策の推進に努めているところです。

そのような中、過去にトカラ群島周辺海域で発生した海難を分析したところ、乗揚げ海難、機関故障海難がその多くを占めることが分かりました。

(資料1参照)

この分析結果を踏まえ、乗揚げ海難及び機関故障海難への対策を強化することが重要だと考え、海難救助訓練を実施することとしました。

トカラ群島には十島村水難救済会があるため、各救難所と合同で海難救助訓練を行い、地域と密着した安全体制の構築を図ります。

(資料2参照)

(1) 訓練日時

- ・5月 5日～10日
- ・5月25日～29日

(2) 訓練実施場所

十島村各海域

皆既日食に伴う海難防止のために

トカラ群島の気象は、夏季の南西季節風期には、海上はおおむね静穏で、6月の梅雨期を過ぎるとようやく快晴の日が多くなり、しばしばしゅう雨が襲来します。

また、トカラ群島西海上において7～9月にかけて台風の進路となることが多く、うねりが大きくなります。過去5年間の7～9月における当該海域への台風接近数は、37件となっています。

トカラ群島及び周辺海域における海難(平成16年～20年)

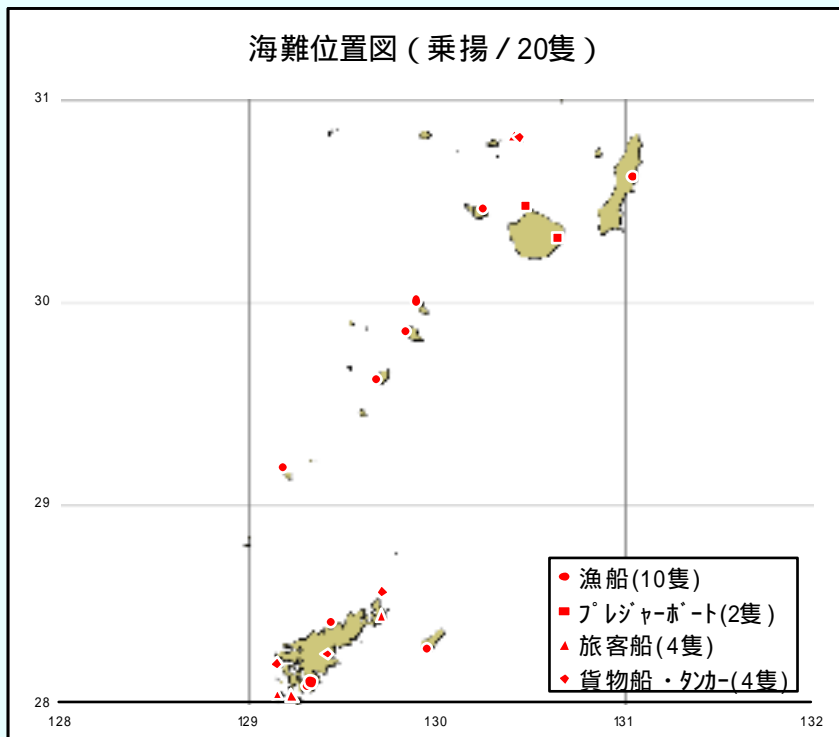
海難発生 距岸	衝突 (対船)	衝突 (対物)	乗揚	転覆	浸水	推進器 障害	舵障 害	機関 故障	火災	運航 阻害	安全 阻害	その他	計
1海里未満 (港内含む)	6	3	19	12 (6)	3	2	1	9	5	4	3	2	69
1～5海里	5		1	1		2		2		4		1	16
5～12海里	6					1		9	1	4			21
12海里以上	19				2	3		9		4	4	2	43
計	36	3	20	13	5	8	1	29	6	16	7	5	149

特徴としては、距岸1海里未満において発生した海難が69隻と最も多く、特に乗揚が19隻と突出しています。

1海里未満の海難では転覆も12隻と多い状況ではありますが、これは平成18年1月に異常気象により発生した竜巻により係留していた船舶が転覆したものであり、これを除くと転覆海難は6隻となります。

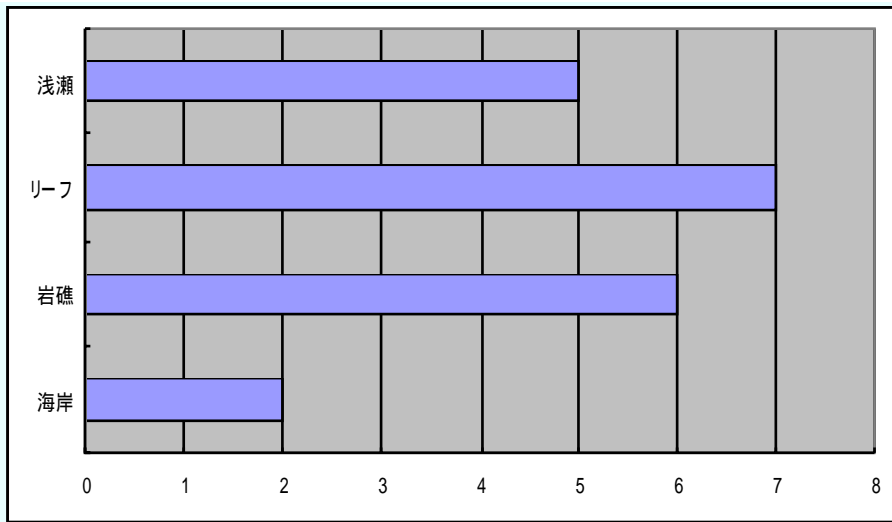
また、12海里以上で衝突(対船)が19隻と多く発生していますが、散在している状況であります。

【リーフへの乗揚げ注意】



乗揚げ場所は、左図のとおり各離島沿岸域で発生しており、北側海域では岩礁への乗揚げが多く、南側の海域ではリーフ(珊瑚)への乗揚げが多い傾向となっています。

リーフへの乗揚げは、当該海域の南方沿岸域(宝島・喜界島・奄美大島・加計呂麻島・与路島)で発生しています。



乗揚げの特徴は、リーフへの乗揚げが7隻と最も多く、次いで岩礁6隻、浅瀬5隻となっています。これは、小型船においても同様の順番となっており、リーフ及び岩礁への乗揚げが多くなっています。

発生場所のうち、港内又は港付近で発生したものは、4割(8隻)で浅瀬5隻(全て)及びリーフ3隻となっています。

発生原因の特徴は、全て人的要因によるものであり、船位不確認が8隻と最も多く、次いで居眠り運航及び操船不適切によるものが各4隻発生しています。(操船不適切による乗揚げについては、自動操舵の取扱い不適切、港内における回頭時の操船ミスによる乗揚げです。)

【海難を起さないために】

台風が多く発生する時期ですので、台風等の気象情報、寄港地、避難場所等をしっかり把握し、無理のない航海計画をお願いいたします。

島の周辺には、多数の浅瀬、岩礁、暗礁が点在し、南方沿岸域特有の珊瑚リーフも発達しています。また、黒潮の影響により三角波が発生する海域もありますので、次の点に注意して運航をお願いいたします。

- ・多数の船舶の往来が予想されるため、船位確認、見張りを強化しましょう
 - ・気象・海象情報の把握と早期避難に努めましょう
 - ・地理的不慣れな船舶は、海図等により事前確認しましょう
 - ・調査を怠らないようにしましょう
 - ・沿岸域を航行するときは、十分に距岸を保って航行しましょう
 - ・港内及び港周辺の状況について、事前に海図等により把握し、港への出入港は細心の注意を払いましょう
 - ・海上で皆既日食を観測する場合は、周りの状況にも十分注意しましょう
- 出港前にマリンセーフティハンドブック等で安全航行について確認をお願いいたします。

皆既日食前後の期間中は周辺海域の安全対策を強化しますが、事前に海上交通状況を把握するため、皆既日食に伴う海上での観測や、種子島・屋久島・トカラ群島・奄美群島などへ航行する予定・計画がありましたら、第十管区海上保安本部までお知らせ下さい。

皆既日食を安全に観測できるよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします！



海難防止、船舶の交通安全に係るお問合せはこちらへご連絡下さい！

第十管区海上保安本部

10th Regional Coast Guard Headquarters

2009年皆既日食海上警備・安全対策本部交通業務室

〒890-8510 鹿児島県鹿児島市東郡元町4番1号

☎ 099-250-9805 (平日 午前9時～午後5時)



十島村救難所との合同救難訓練

H21.4.24

